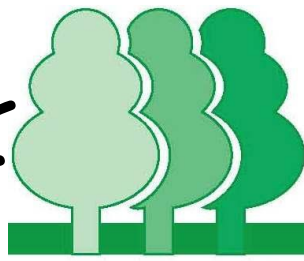


工場にみどりを

茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会



第53号

令和7年3月発行



事務局：茅ヶ崎市都市部景観みどり課

電話：0467-81-7182（内線 2341-3）

写真：茅ヶ崎にゆかりのあるイネ科の植物「チガヤ」

発刊に寄せて



茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会
会長 高橋 政登

春風の候、時下ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。平素は茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会の事業に際しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第53号発刊にあたり、代表してご挨拶させていただきます。

1年を振り返るとさまざまな出来事がありました。令和6年度は、緑化活動において多くの成果が生まれた年でした。全国では「緑化優良工場等表彰」において、数々の工場がその功績を認められ、地域環境との調和を図る取組が評価されました。特に群馬県の株式会社明電舎太田事業所では、「グリーンファクトリー」をコンセプトとした工場敷地境界沿いへの樹木の配置や市内の山林の下草刈りへの参加が注目され、生物多様性の保全への具体的な貢献が示されました。

生物の多様性を保全することは、私たちの未来を支える重要な要素の一つです。本協議会は、市内の工場、事業所における良好な環境づくりを行うとともに、地域社会との調和を図りつつ緑化推進を目指して活動しています。皆様ならびに事務局である茅ヶ崎市景観みどり課と一緒に生物多様性の保全に関する活動の輪を広めていきたいと思ひます。

今後とも、皆様のご支援ならびにご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年度事業計画

事業名	実施月
役員会	5月、9月
総会	6月
里山等保全事業（赤羽根）	6月
里山等保全事業（清水谷）	7月
事業所見学会・研修会	12月
機関誌編集委員会	2月
機関誌「工場にみどりを」発行	3月
HPを活用した活動の周知	年間
運営に関する意見交換	年間
会員の増強	年間

コロナ禍を経て

茅ヶ崎市 都市部 景観みどり課

令和2年（2020年）、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、その影響により当協議会の活動も大きく制限を受けました。

特に対面での会議や緑化に関する事業の実施は著しく制限され、それにより情報共有や意見交換の機会が大幅に減少しました。また、機関誌の発刊も見送られ、協議会の取り組みを広く発信する機会が限られる状況が続きました。

しかし、そのような状況の中でも書面での会議開催やオンラインツールを併用しながらの会議形式で対応するなど協議会としての活動は止めることなく続けてまいりました。令和2年度～令和3年度では、書面での役員会、総会の開催となり、令和4年度には2年ぶりに対面での役員会を開催し、会としての今後のあり方等についての意見交換を行いました。

令和5年度に入ると、コロナ禍の制限が緩和されたこともあり里山等保全事業を予定通り2回実施することができました。特別緑地保全地区である赤羽根字十三図周辺で行われた当事業では、2回で5社10名の会員の皆様にご参加いただき、地域の生態系維持と自然環境の保全に努め、貴重な緑地の管理にご貢献していただきました。令和6年度は里山等保全事業に加え、事業所見学や研修会も再開することができ、会員の知識向上と交流の機会を設けることができました。

近年の当会の活動を振り返りますと、この5年間はみどりの価値が再認識された大変意義深い期間でありました。世間的にも「環境負荷の低減」や「景観向上」だけでなく、心身の健康、生物多様性の保全、防災などといった多面的な役割が求められるようになり、みどりに対する取り組み方の見直しが必要となる時代となってまいりました。コロナ禍を経て、当協議会の活動は新たな段階を迎えています。5年ぶりの機関誌発刊を機に、これまでの歩みを振り返りながら今後の緑化推進に向けた取り組みをさらに発展させていきたいと考えています。改めまして会員の皆様、並びに関係各位のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。



里山等保全事業の様子（赤羽根：令和5年度）



外来種のオオブタクサは根から抜き取り

第1回里山等保全事業（赤羽根字十三図周辺）

ナストーア株式会社 生沼 聡

今年度第1回目の里山等保全事業（赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区）に参加させていただきました。事前に天候が優れないことを確認し、長靴や軍手、鎌などの道具を準備。さらに、カッパも持参し、万全の体制で臨みました。当日は茅ヶ崎市役所北側入口に集合し、車で現地へ向かいました。四輪駆動車に乗せてもらい、まるで探検隊のような気分を味わいながらの移動となりました。

現地に到着すると、まず初めに作業内容の説明を受けました。今回の活動では、オオブタクサやセイタカアワダチソウなどの外来種を抜き取る作業を中心に行いました。シトシトと小雨が降る中、カッパを着込んで作業を開始しましたが、次第に体が温まり、汗ばむほどの作業となりました。適度に休憩を挟みながら、提供された飲料に助けられつつ、手を動かし続けました。限られた時間の中で対象エリア全体を整備することは難しかったものの、目に見えて環境が整えられていく様子に達成感を覚えました。

作業終了後には、景観みどり課職員の方によるミニ自然観察会が行われました。ノアザミやスカシエダシャク、ナミギセルなどの生きものを観察することができ、改めて里山の豊かさを実感しました。個人的には、クワガタの採取スポットを教えていただいたことが印象的でしたが、道中が陰しく、再訪はなかなか難しそうです。

今回の活動を通じて、自然と触れ合いながら環境保全に貢献できる喜びを感じました。今後も積極的に参加し、美しい里山を守り続けていきたいと思えます。



里山等保全事業の様子



作業後の自然観察会の様子

第2回里山等保全事業（清水谷）

茅ヶ崎市 都市部 景観みどり課

茅ヶ崎市の堤にある清水谷特別緑地保全地区にて第2回里山等保全事業を実施しました。今回は会員企業5社より12名、茅ヶ崎市職員3名、「清水谷を愛する会」より4名が参加し、総勢19名で保全活動を行いました。作業は1時間ほど実施し、作業後には清水谷にて市職員の解説による自然観察会を実施しました。

竹は生命力が強い植物であることから一度根付いてしまうと厄介です。食品として馴染みの深いタケノコも1か月ほどで立派な竹になるため、放置するとあっという間に竹林が広がってしまいます。そのため、生物多様性の保全の観点からも定期的に人の手を入れて竹の管理を行い、他の植物が生育できる環境を作る必要があります。



里山等保全事業の様子



一か所に集積した竹

今回の作業内容については、竹の伐採作業が主であり、伐採した竹は人の手で運び出し、1か所に集積しました。作業の際には、「受け口」「追い口」を意識した伐り方を実施することにより、伐倒の際の安全性を高めました。

作業終了後に実施した自然観察会では、清水谷特別緑地保全地区を散策しながら清水谷に生育・生息している生きものの紹介や谷戸地形についての説明を実施しました。

また、近年全国的に問題となっている「ナラ枯れ」被害についての説明を行い、清水谷においても実際に発生している問題であることを実感していただきました。今回実施した自然観察会は、茅ヶ崎市の自然環境について関心を持っていただく良い機会になったと考えております。

参加して下さった皆様、並びに関係者各位のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

事業所見学・研修会

茅ヶ崎市 都市部 景観みどり課

昨年12月6日に実施されました事業所見学会および研修会は、大変有意義な機会となりました。今年度の本事業では、会員からではなく市内に研究所を構える電源開発株式会社様の敷地内ビオトープの観察を行ったのちに、電源開発株式会社様の会議室の一室をお借りし、研修会を行いました。

敷地内ビオトープは、約200㎡という面積の中に草地環境と池環境があります。見学した場所のほかにも草地広場や桜並木などのみどりもあり、千の川や市役所前広場や第一 Cutter いろいろ公園（中央公園）などのみどりも周辺に広がっています。

電源開発株式会社でのビオトープ管理は、形式的な緑化管理ではなく、生態系に配慮した管理方法をとっていることが印象的でした。樹木は主に在来種が植栽されており、生物多様性を意識した緑地設計は民間企業における環境保全の新たな可能性を感じさせるものでした。当日は12月ということもあり、あまり多くの生きものを見ることはできませんでしたが、トンボ類のヤゴや甲殻類などの水辺に生息している生きものたちを確認することができました。

見学会ののちに実施された研修会では、電源開発株式会社様の研究員である鳥羽瀬氏による講演があり、企業が取り組む緑化の意義と実践的な手法について、過去の具体的なデータと事例を通じて理解を深めることができました。講演後の参加者との意見交換も非常に刺激的でした。各企業の取り組みや課題を共有することで、民間企業の敷地内緑化の可能性と今後の展望について考えることができました。当日は4社5名（+市職員6名）の会員の参加がありましたが、参加者一同、大変充実した一日を過ごすことができ環境への意識をさらに高める貴重な機会となりました。

貴重な機会をいただきました電源開発株式会社の皆さまに心より感謝申し上げます。



事業所見学会の様子



研修会の様子

会員企業の取組み紹介

東邦チタニウム株式会社 塚本 英雄

当社は1953年に茅ヶ崎の地で金属チタンメーカーとして創業以来、その製品・サービスの提供を通じてチタンと関連技術の限りない可能性を追及し続けてきました。当社では、金属チタン製品（スポンジチタン、チタンインゴット、高純度チタン、チタン粉、チタン加工品等）のほか、チタンの製造プロセスで得られる原料や関連技術を利用した製品として、ポリオレフィン製造用触媒、電子部品材料向け高純度酸化チタン、積層セラミックコンデンサ（MLCC）向け超微粉ニッケルなどを製造・販売しています。

当社の国内生産拠点は5カ所あり、中でも茅ヶ崎工場（写真①）は敷地面積142,000㎡で、約900名の社員が勤務しています。

旬な話題としては、昨年5月より北茅ヶ崎駅に近い当社敷地内に「新総合事務棟」（イメージ図①）を建設しております。コンセプトとして、（1）太陽光発電、グリーンカーテン等の技術採用による省エネ、（2）震災時等による帰宅困難者や周辺住民の受け入れを考慮する、とし2025年12月完工で進めております。緑地管理は年間計画を策定して、外部の専門会社に委託し進めています。

地域貢献活動としては、当社サッカー部メンバーを中心に茅ヶ崎市役所や北茅ヶ崎駅周辺の美化活動を2019年1月より毎月1回継続しております（写真②）。

もしお気づきの際は、メンバーも励みになりますのでお気軽にお声掛けください。



茅ヶ崎工場の上空写真（写真①）



新総合事務棟（イメージ図①）



地域貢献活動の一環として
実施している美化活動様子（写真②）

令和6年度会員名簿

敬称略

役職	企業名
会長	ナストーア株式会社
副会長	日産モータースポーツ&カスタマイズ株式会社
副会長	AGCセイミケミカル株式会社
会計	モリタ宮田工業株式会社
監査	東邦チタニウム株式会社
監査	東海カーボン株式会社
幹事	TOTO株式会社
幹事	株式会社ミヤザワ
幹事	トピー工業株式会社

その他の会員(50音順)：

内山工業株式会社茅ヶ崎工場、神奈川県生花小売商協同組合茅ヶ崎支部(旧 茅ヶ崎生花商組合)、株式会社JR横浜湘南シティクリエイト、株式会社テクノサンキョー、株式会社明治 神奈川工場、シーカ・ジャパン株式会社、茅ヶ崎市緑化事業協同組合、茅ヶ崎造園組合、東洋アルミニウム株式会社茅ヶ崎製造所(矢畑)、ハイモ株式会社神奈川工場

特別会員：茅ヶ崎市都市部景観みどり課

計：20会員

令和7年度市民と合同で行う事業

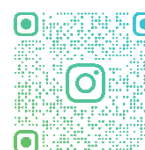
令和7年度では、当協議会の会員のみではなく、市民の皆様と一緒にできる事業の実施も考えています。

- ・里山等保全事業(計2回実施予定)5月総会以降～
- ・ちがさき環境フェアへの参加 例年10～11月頃実施予定

詳細は来年度の総会後に確定しますが、景観みどり課所管のSNSや市HP等で周知する予定です。



協議会(市HP)



Instagram



Facebook